

農山漁村地域整備計画 事後評価

計画の名称 農業王国和歌山 働きやすい優良な農地づくり計画
計画策定主体 和歌山県
対象市町村 紀の川市、橋本市、かつらぎ町、九度山町、紀美野町、有田市、有田川町、日高川町、みなべ町、田辺市
計画の期間 平成22年度～26年度（5年間）
計画の目標 本県の農地は、農業経営に不利な急傾斜果樹園が大半を占めており、就業者の高齢化が進む中、基盤整備による営農条件の改善が課題となっている。 「農業王国和歌山の創造」を目指し、省力化、低コスト化を可能とするための区画整理、農道、集落道及び農業水利施設等の整備を行うことにより、急傾斜農地の多い地形条件を克服し、生産性の高い、高齢化にも対応した働きやすい優良な農地づくりを進める。
定量的指標 ①農地の基盤整備、農村環境の整備を行うことにより、894haの農地の営農条件を改善する。 ②農道の整備により、7地域2,003haの農地について通作や農産物輸送の効率化を図る。

●交付対象事業の進捗状況
指標①に関連する事業

事業名	実施箇所	事業実施主体	関係市町	工期	主な事業内容	計画期間内の総事業費【千円】	備考
農地整備事業 (畑地帯担い手支援型)	安楽川地区 (紀の川市竹房地内他)	和歌山県	紀の川市	H22～H25	水路工L=0.6km	529,728	H25年度完了
農地整備事業 (畑地帯担い手支援型)	須谷・田殿2期地区 (有田市宮原町畑地内他) (有田川町井口地内他)	和歌山県	有田市 有田川町	H22～H23	畑地かんがい用水槽2基	92,590	H23年度完了
農地整備事業 (畑地帯担い手支援型)	みなべ地区 (みなべ町徳蔵地内他)	和歌山県	みなべ町	H22～H26	道路工L=0.9km 水路工L=0.5km	489,270	次期計画へ継続
農地整備事業 (耕作放棄地型)	下丹生谷地区 (紀の川市下丹生谷地内)	和歌山県	紀の川市	H24～H26	区画整理12.1ha 道路工L=0.5km	107,240	次期計画へ継続
中山間地域総合整備事業 (生産基盤型)	北山地区 (紀の川市貴志川町北山地内)	和歌山県	紀の川市	H22～H25	区画整理13.2ha 水路工L=2.7km 道路工L=0.5km	430,800	H25年度完了
中山間地域総合整備事業 (生産基盤型)	吉原地区 (橋本市吉原地内)	和歌山県	橋本市	H22～H25	区画整理11.6ha 道路工L=1.5km	338,000	H25年度完了
中山間地域総合整備事業 (生産基盤型)	日向地区 (田辺市上芳養地内)	和歌山県	田辺市	H22～H25	区画整理25ha 道路工L=1.9km	263,000	H25年度完了
中山間地域総合整備事業 (一般型)	かわべ地区 (日高川町和佐地内他)	日高川町	日高川町	H22～H24	道路工L=0.9km	187,113	H24年度完了
集落基盤整備事業	小川地区 (有田川町小川地内)	有田川町	有田川町	H23～H26	道路工L=1.1km ほ場整備2.0ha 集落排水L=0.9km 集落道L=0.2km	360,692	次期計画へ継続
小計						2,798,433	

指標②に関連する事業

事業名	実施箇所	事業実施主体	関係市町	工期	主な事業内容	計画期間内の総事業費【千円】	備考
農道整備事業	小倉谷地区 (みなべ町東本庄地内)	みなべ町	みなべ町	H22～H26	道路工L=0.7km	390,958	H26年度完了
農道整備事業	紀の川左岸地区 (橋本市学文路地内他) (九度山町九度山地内他) (かつらぎ町三谷地内)	和歌山県	橋本市 九度山町 かつらぎ町	H22	道路工L=0.1km	31,700	H22年度完了
農道整備事業	紀の川左岸2期地区 (かつらぎ町寺尾地内他)	和歌山県	橋本市 九度山町 かつらぎ町	H22	道路工L=0.3km	322,420	H22年度完了
農道整備事業	紀の川左岸3期地区 (橋本市西畑地内他) (九度山町九度山地内) (かつらぎ町見井地内他)	和歌山県	橋本市 九度山町 かつらぎ町	H22～H23	道路工L=0.3km	320,900	H23年度完了
農道整備事業	山畑2期地区 (紀美野町柴目地内他)	和歌山県	紀美野町	H22～H26	道路工L=0.7km	761,805	次期計画へ継続
農道整備事業	鳥屋城2期地区 (有田川町小川地内他)	和歌山県	有田川町	H22～H26	道路工L=0.2km	547,316	次期計画へ継続
農道整備事業 (通作条件整備型)	紀の里地区 (紀の川市麻生津中地内他)	和歌山県	紀の川市	H22～H26	道路工L=1.0km	1,346,458	次期計画へ継続
小計						3,721,557	

合計（全体事業費）	6,519,990
-----------	-----------

●事業効果の発現状況

指標①：生産基盤の整備や農業用水路・道路の整備を行い、営農効率が向上した。
 指標②：7地域において農道の整備を行い耕作条件や農作物輸送環境が改善し、農産物輸送の効率化が図れた。

●指標値の実現状況

対象・手段	定量的指標		実績値	達成率	目標値と実績値に差が出た要因	備考
	指標値（目標値）					
農地基盤整備、農村環境整備	農地の営農条件を改善	894 ha	820 ha	92%	建設残土を受け入れ基盤整備を行う予定であったが建設残土の搬入に遅れが生じ、3地区が次期計画にて継続実施中のため	
農道整備	農地の通作、農産物輸送の効率化	7地域 2,003 ha	7地域 1,222 ha	61%	用地取得に遅れが生じ、3地区が次期計画にて継続実施中のため	

●今後の方針

指標①：次期計画へ継続する地区については、重点的に予算を割当て早期完了させることにより、営農条件の改善を早期に発現させる。
 指標②：農産物輸送の効率化を図るため、継続の3地区については他の交付金も活用し早期完了を目指す。